

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	創意と工夫にあふれた教育の推進	施策No	04-02	部課名	教育委員会事務局指導室
関連部課名	教育委員会事務局学務課、荒川区立教育センター				
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市		
	政策	04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的	学校図書館の充実やＩＣＴ機器の活用、校長の裁量権を生かした特色ある学校づくり等を進め、これからの変化の激しい社会をたくましく生き抜くために必要な力を養う。
----	---

指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			5年度	6年度	7年度			
指	①	「生きる力」の習得度	3.66	3.56	3.52	お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？		
	②	子育て・教育環境の満足度	3.55	3.55	3.50	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？		
	③	文化的寛容性	2.68	2.69	2.70	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
	④							
標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度 見込み	目標値 (8年度)	
	①	授業でタブレットPCを効果的に活用している教員の割合(%)	86.0	86.5	88.0	90.0	90.00	「教育の情報化調査」より
	②	英語が好きな児童（第5・6学年）の割合（%）	64.4	66.2	67.0	70.00	70.00	「区学力向上のための調査 生活と学習に関するアンケート」より
	③	先生や友達と楽しく過ごしている児童生徒の割合（%）	93.5	93.7	94.2	94.7	95.00	「学校関係者評価」より
	④							
	⑤							

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○各校が更に特色ある教育活動を進めるため、平成20年度から、各小・中学校において校長の裁量で予算を執行できる「学校パワーアップ事業」を実施し、学校を支援している。 ○令和5年度に制定した「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」に則り、児童生徒等の主体的な読書活動を推進するとともに、生涯にわたり豊かな心と人生を切り拓く力を身に付けるための取組を学校や地域と一体となって実施する。 ○情報化社会の急速な進展に対応するため、平成21年度に電子黒板、平成26年度に区立全小中学校へのタブレットＰＣ導入等のＩＣＴ機器を利活用しながら、学習効果の高い、分かりやすい授業を展開している。タブレットＰＣを効果的に活用している教員の割合は88%であり充実している。 ○英語を活用した国際コミュニケーション能力を身に付けさせるため、小学1年生から「荒川区小学校英語科指導指針」に基づき、小学校卒業時まで日常的な場面で自分の思いや意見を英語で伝え、簡単な英語の読み書きができることを目標に英語教育を実施している。
課題	○「学校パワーアップ事業」により推進されている教育活動について、更に地域や保護者に対して定期的に発信する制度を整理し、学校の魅力を十分に伝えていく必要がある。 ○児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成に向けて、学校図書館の更なる活用が求められている。また、学校図書館において「読書を楽しむまち・あらかわ」の実現に向け、読書活動推進のために学校における創意工夫ある取組の他、家庭での「家読」等、いつでも図書に触れることのできる事業の実施や区内公共施設と連携した読書環境を整備する必要がある。 ○英語教育において、小学校と中学校の円滑な接続を図るための取組を強化させる必要がある。 ○臨時休業等の不測の事態に備えるためや、家庭学習の充実を図るために、コロナ禍で整備したＩＣＴ機器・教材の効果的な活用や環境整備が求められる。
今後の方向性	○各学校が特色ある教育活動を更に充実させるため、ヒアリングや学校訪問などを行い、効果的な予算執行や事業検証、情報発信の好事例を広め、各学校から地域や保護者に情報を発信していく。 ○「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言の趣旨を踏まえ、学校図書館の活用について、司書教諭と学校司書の更なる連携を図り、学校図書館の三つの機能（読書センター、学習センター、情報センター）を充実させ、家庭での「家読」等、いつでも図書に触れることのできる事業や読書環境の整備を進める。 ○英語教育において、小中の円滑な接続を図るため、荒川区教育研究会と連携を図り、授業の相互参観などを通して、教員に対してその連続性の周知を図っていく。合わせて、学校に配置している外国人英語指導員等を活用・充実させ、環境を更に充実させていく。 ○小・中学校で、「21世紀型能力」の中の情報活用能力等を高めるよう、ＩＣＴ機器の更なる活用を推進する。また、児童生徒がＩＣＴ機器を家庭に持ち帰り、家庭学習等での活用を推進していく。プログラミング学習や問題解決学習等による論理的な思考を育むよう、工夫した授業の取組を推進していく。 ○ＩＣＴ教材等について、効果的なものを導入できるよう今後の動向に注視していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	荒川区学校教育ビジョンに掲げた、「未来を拓きたくましく生きる子どもを育成する」ため、子どもたちの学ぶ力の向上を図るとともに、地域に信頼される特色ある学校づくりを重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
就学・学校選択	13-03-07	23,204	28,100	2,130	2,562	継続	継続	学校選択制度の導入から20年以上が経過し、対象者の多くが制度を支持しているほか、制度の定着が図られている。引き続き制度の向上に努める。
マーチングバンド運営	13-03-18	7,823	9,375	6,945	8,310	推進	推進	児童の情操の育成、パレード等の地域活動への寄与など必要性が高い。
ブラスバンド運営	13-03-19	11,805	13,193	10,927	12,129	推進	推進	生徒の情操の育成、パレード等の地域活動への寄与など必要性が高い。
教育用コンピュータ運営費	13-03-21	3,228,190	942,075	3,210,628	916,538	推進	推進	新しい教育機器（タブレットPC、電子黒板等）を導入した学習指導を推進することにより、情報活用能力を高め、学習の向上を図る必要がある。
小学校英語教育の充実・強化	13-04-11	67,901	70,178	64,471	65,973	重点的に推進	重点的に推進	「荒川区学校教育ビジョン」において、国際コミュニケーション能力の育成を重点項目に掲げている。区立小学校の教員の指導力向上により、英語教育の更なる充実を図る。
中学校英語教育の充実・強化	13-04-12	44,204	44,798	42,224	41,563	推進	推進	「荒川区学校教育ビジョン」において重点目標として掲げている「国際コミュニケーション能力の育成」に向け「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能の更なる育成を推進する。
研究指定校事業(国・都)	13-04-15	2,892	6,569	1,573	4,143	継続	継続	研究指定校が研究活動に取り組むことにより、区全体に成果を普及することを通して、学習指導の向上を目指す。
学校パワーアップ事業(創造力あふれる教育の推進)	13-04-26	34,633	34,521	32,917	32,418	重点的に推進	重点的に推進	各学校が、学校教育ビジョンに基づいて、創意ある事業展開をするよう促す。
合 計		3,420,652	1,148,809	3,371,815	1,083,636			